

課所室業務棚卸総括表

平成16年度（前期）行政経営会議用 様式 2

年度	16	部局	課所室	担当（係）	作成者（職）	（氏名）	（連絡先）	棚卸表コード	No.
作成日	16.8.3	総務部	防災対策課	-	-	-	-	2 総防 0 2	総務 - 1 5

業務名称	自主防災組織育成・強化業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	地域に密着した消防団・自主防災組織によって街を守ることができる。	災害時における自主防災組織の活動率	未実績	100%		
担当業務目的	市民による自助・共助体制（市民自らによる初期消火や救助救出などを整備し、大規模災害が発生した際に、市民の生命、身体および財産を保護するとともに被害の軽減を図る。	自主防災組織結成率	30%	40%	2.0人	51,250

活動概要（担当業務目的達成のための手段（2桁レベル））				事業費 （千円）	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
0 1 自主防災組織の新規結成を促進する				45,856	(1) 自主防災組織結成促進事業 ・対象 未組織町内会 ・内容等 結成促進啓発文書、しおりの送付、説明会への職員の派遣 (2) 自主防災組織結成等促進強化事業（緊急雇用創出特別基金事業） 災害対応に最も有効な自主防災組織の結成率を高めることから、結成促進指導者を雇用し、自主防災組織未組織町内会に対し、結成を働きかける。・16年度雇用人数 14人（延べ3,276人日） 平成16年度末で自主防災組織結成促進強化事業が廃止となるため、結成促進活動を維持する方策を検討していく。
新規結成組織数	65組織	27組織			
未結成町内会に対し自主防災組織の必要性をPRする 未組織町内会の会長（役員）に対し個別に結成を依頼する 自主防災組織結成促進指導者を育成する					
0 2 災害発生時に初期消火・救助救出・避難誘導などを適切に指揮・実践できる防災リーダーを育成する				48	(3) リーダー育成事業 ・対象 結成組織の自主防災隊長および隊員 ・目的 自主防災組織のリーダーとしての意識を高め、地域の防災活動に生かす。 ・内容 防災講演会の実施 リーダー研修会の実施 防災訓練の実施
災害時に自ら取るべき行動を理解し実践できる市民の割合	90%	90%維持			
秋田市自主防災組織連絡協議会への支援を通じ、活動を活性化させる 自主防災組織を対象に防災リーダー研修会を実施する 上部機関主催のリーダー研修会に派遣する 情報提供用機関誌を発行する					
0 3 災害発生時および災害に備え、自らの行動を自ら判断できる人を増やす					
災害時に自ら取るべき行動を理解し実践できる市民の割合	未実績	30%			
市民に提供すべき防災関係の情報を精査する 警報や勧告などの情報をタイムリーに提供する 市民に対し、災害への備えや、災害時に取るべき行動について啓発する 小中学生に対し防災教育を実施する					

0 4 災害時における市民の共助能力（救助救出、避難誘導など）を向上させる	5,346	(4) 防災資機材助成事業 ・対象 結成組織町内会 ・目的 自主的な救助・救護活動が迅速かつ効果的に実施できるよう、必要な防災資機材、医薬品等の整備を促進する。				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="120 172 790 212">能力を持つ世帯数の割合</td> <td data-bbox="790 172 913 212">未実績</td> <td data-bbox="913 172 1041 212">30%</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="120 212 1041 371"> 総合的な防災訓練（秋田市総合防災訓練）を実施する 県民防災意識高揚強調週間および冬期間などに訓練を実施する 自主防災組織に対し防災用資機材を助成する 事業所や学校、自主防災組織が訓練で使用する資機材を貸し出す </td> </tr> </table>			能力を持つ世帯数の割合	未実績	30%	総合的な防災訓練（秋田市総合防災訓練）を実施する 県民防災意識高揚強調週間および冬期間などに訓練を実施する 自主防災組織に対し防災用資機材を助成する 事業所や学校、自主防災組織が訓練で使用する資機材を貸し出す
能力を持つ世帯数の割合	未実績	30%				
総合的な防災訓練（秋田市総合防災訓練）を実施する 県民防災意識高揚強調週間および冬期間などに訓練を実施する 自主防災組織に対し防災用資機材を助成する 事業所や学校、自主防災組織が訓練で使用する資機材を貸し出す						